

県海岸保全基本計画検討委

鹿 児 島 湾 施 設 整 備 計 画 示 す

第4回県海岸保全基本計画検討委員会(委員長 島市市庁で開き、鹿児島湾沿岸海岸基本計画案について審議した。この中で、委員から湾奥部の



人工島による環境の影響も審議した委員会 = 鹿児島市の県庁で

り方、海岸保全施設の整備等の説明があった。基本計画案に盛り込まれたゾーンの海岸保全施設の種類の等々次は次の通り(①種類②延長)。

【錦江湾西岸ゾーン】

▽宮ヶ浜海岸宮ヶ浜地区①離岸堤、突堤、護岸②700m

▽喜入南海岸喜入南地区①離岸堤②330m

▽喜入港海岸喜入北地区①離岸堤②100m

【鹿児島臨海ゾーン】

▽野尻港海岸野尻地区①消波工、胸壁②260m

▽湯之持木海岸湯之持木地区①消波工、胸壁②108m

▽古里港海岸古里地区①堤防、消波工②55m

▽高免港海岸高免地区①消波工、堤防②80m

【錦江湾湾奥ゾーン】

▽始良海岸松原地区①堤防、護岸、突堤②807m

▽加治木振興地区①消波工、水門、樋門、護岸、突堤、人工海浜②1200m

▽単人海岸真孝地区①消波工、護岸②2448m

▽単人海岸住吉地区①消波工、護岸②2160m

▽国分海岸国分地区①消波工、水門、樋門、護岸②2500m

▽国分海岸下井地区①昇降口、階段工、護岸

人工海浜②782m

▽福山海岸福山地区①護岸、植栽工②300m

【錦江湾東岸ゾーン】

▽垂水海岸垂水地区①離岸堤②500m

▽垂水海岸新城区地区①離岸堤②100m

▽新城区海岸新城区地区①離岸堤、突堤、養浜工②500m

▽荒平海岸荒平地区①人工リーフ②210m

▽高須港海岸高須地区①離岸堤②140m

▽神之川海岸神之川地区①人工リーフ、養浜工、離岸堤、緩傾斜護岸②220m

▽大根占海岸神之川地区①離岸堤、人工リーフ②1126m

▽馬場海岸馬場地区①離岸堤②965m

▽片野坂海岸片野坂地区①護岸②92m

▽伊座敷海岸伊座敷地区①人工リーフ②100m

鶴長さんが優勝

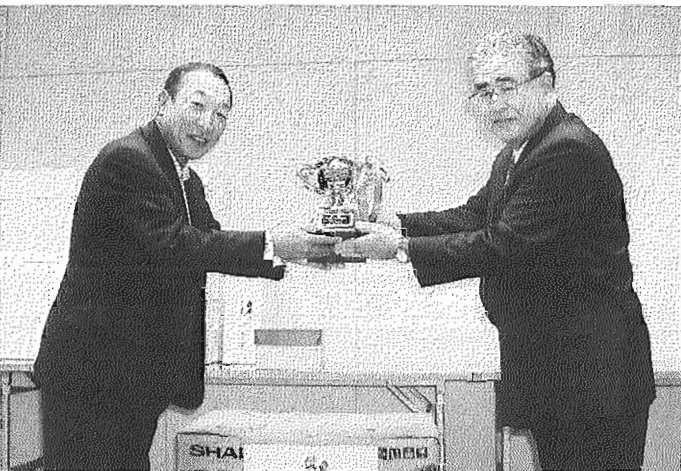
県建設業協会出水支部大会

当日は、午前9時30分に集合した参加者を前に、同大会の門田孝一実行委員長が「親睦を深めながら、大会のゴルフ大会を開き、秋晴れのゴルフ日和の下、72人が参加して熱戦を繰り広げた結果、鶴長親雄さん(株長崎組)が優勝した。

当日は、午前9時30分に集合した参加者を前に、同大会の門田孝一実行委員長が「親睦を深めながら、大会のゴルフ大会を開き、秋晴れのゴルフ日和の下、72人が参加して熱戦を繰り広げた結果、鶴長親雄さん(株長崎組)が優勝した。

ト・インに分かれてスタート。気心知れた参加者は和やかにプレーを満喫し、ダブルペリア方式のハンディキャップにも恵まれた鶴長さんが、アウト37イン38のクロス75、ネット70・2で見事、優勝カップと副賞の25型カラーテレビを手中に収めた。

表彰式は、軽妙な門田委員長司会のもと、桑木支部長が「古家康博副支部長が27日に逝去された。氏の功績を称えたい」と語り、その後、「今日は大いに親睦を深めていただけたと思う。厳しい状況ではあるが、来年春の大



桑木支部長より優勝カップを受ける 鶴長さん(左) = 出水市の出水GCで



谷口浩幸さん

谷口さんがホールインワン

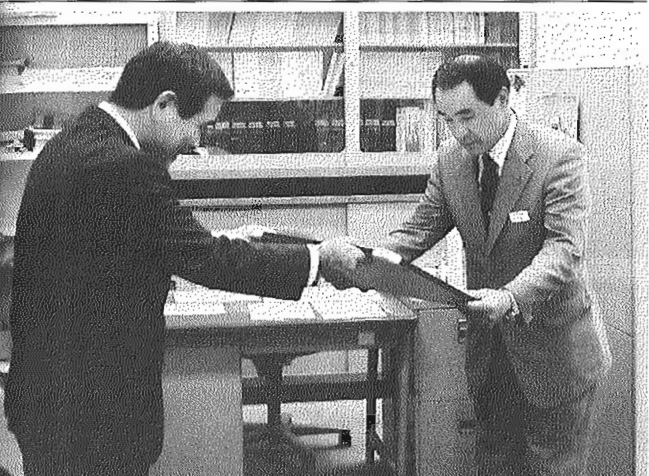
また同日は、15番ショートホールで谷口浩幸さん(永和測量設計)が大会2人目のホールインワンを達成し、特別賞が贈られた。

県土地家屋調査士会

交通遺児へ愛の献金

たすけあい協会(米盛盛司理事長)を訪れ、チャリティゴルフ大会で得た益金等を交通遺児援護事業活動に役立てていた。同会から交通遺児への献金は、平成元年から行われており、今回は、10月7日に行ったチャリティゴルフ大会で得た益金10万9400円を寄付したもので、今回で15回目となる。

当日は、永田会長と益田博明同会常任理事が県庁内にある同協会を訪れ、



感謝状を受け取る永田会長(右) = 鹿児島市の同協会

成政建設工業

成政建設工業(成政准一社長、伊佐那菱刈町)は30日、大口市の平出水川で鯉の稚魚約500匹を放流した。上流の護岸工事完成を機に、日頃騒音などで迷惑をかけている地域住民への恩返しにと、川内川上流漁業協同組合(黒木勝吉組合長)の協力で実施したもの。放流には、発注者の大口土木事務所からも、京田利明河川砂防係長ら3人が立ち会った。鯉を放流したのは大口市立平出水小学校の



鯉を放流する平出水小学校の児童 = 大口市の現地で

地域住民に感謝込め

の伊伏睦夫さんや、京田係長、堀元恵夫技術主査から、川に住む魚の種類や河川工事などについて説明を受けた。後、堤防から川に渡り

れいいます」と挨拶。同社ではこれまで、工事完成後に河川清掃等を行っていたが、鯉の放流は初めて。

児童らは、漁協役員をかくていた。放流した鯉の中には、体重4kg以上の物もあった。最後に同小学校1年生の鶴木彬君が「僕は魚が好き。川も喜んでるでしょう」と作文を読み上げ、徳石秀二教頭も「自然に親しむいい機会を作ってくださってありがとうございます。今後子供達が世話をすることもあると思います」と感謝の言葉を述べた。